

## 日航、ボーイング787、飛行規程改定により、3 路線で機材変更

日航は 23 日、アメリカ・ボーイング社が日本時間の23日、787型機の飛行規程を改定したことを受け、週明けから国際線10路線のうち、成田ーシンガポールなど3路線を別の機種に変更すると発表した。

飛行規程が改定されたのはゼネラル・エレクトリック社のエンジンを使用している787型機で、ボーイング社は高度9千メートル以上で積乱雲の周囲90キロ以内の飛行を禁止すると飛行規定を改定、23日に航空会社に通達した。積乱雲付近を飛行した際、エンジン内部に氷の結晶ができ、推力が減少した事例があったという。

GE製エンジンを搭載した787を12機保有している日航は成田・羽田発着のデリー、シンガポール、シドニーの各線に使用している787型機を、25日から他の航空機に機材変更することを決めた。現時点で欠航の予定はないが、機材の変更で座席数が減り、一部、他の便への振替えが発生する可能性もある。

一方、全日空の787型機は別のエンジンを使用しているため、影響はない見通しだ。

(TBS ニュース)11/23

[http://news.tbs.co.jp/newseye/tbs\\_newseye2061474.html](http://news.tbs.co.jp/newseye/tbs_newseye2061474.html)

(産経ニュース)11/23

<http://sankei.jp.msn.com/affairs/news/131123/dst13112317130012-n1.htm>

(日航 HP)11/23

<http://www.jal.co.jp/info/other/131123.html>

## 中国東方航空、熊本ー上海線、定期便開設検討、来春一週 3 便

中国東方航空が、熊本ー上海線の国際定期便の開設を検討していることが23日、分かった。早ければ来春に週3便程度を就航させることを目指し、県と調整を進めている。実現すれば、熊本と中国を結ぶ定期路線は初めてとなる。くまにちコムが報じた。

李天然・中国駐福岡総領事が 23 日、東方航空と県の実務的な協議は最終段階に入ることを明らかにした。李氏は熊本日日新聞の取材に対し「定期便は週3便の就航で、ほぼ決まりだ」と述べたという。

現在、熊本空港発着の国際定期便は、週3往復しているアジアナ航空のソウル線のみ。中国関連では、1980年代後半に香港ドラゴン航空が香港へのチャーター便を運航したことがあるが、定

期路線が実現したことはない。

(くまにち COM)11/24

<http://kumanichi.com/news/local/main/20131123006.shtml>